

## 1.4 北梅田周辺の動向

北梅田周辺では、すでに多くのまちづくりや都市の再開発が進行し、ディアモール大阪や西梅田開発などが完成する等、その成果が上がりつつある。また近年、大阪駅の周辺では既存の企業集積に加えて、都心部での交流を求めて先端的な企業が進出する例も見られ、北梅田（大阪駅北地区）のまちづくりにあたっては、これら大阪駅周辺の動きやポテンシャルを最大に活用し、効果的な連携再編を図ることが求められている。

### (1) まちづくり、開発の動向（にぎわいと連携）

JR西日本では、JR大阪駅の抜本的な駅改良、通路・広場の整備、並びに新北ビル開発を柱とする基本的な計画がまとめられている。

大阪駅の改修と合わせて整備される「JR大阪駅新北ビル」は、「大阪駅北地区全体構想」の歩行者ネットワーク計画を踏まえ、新北ビル内と駅上空に歩行者通路や広場を整備する駅前広場と大阪駅を一体化するなど、駅周辺の回遊性を高める役割を果たす予定である。延べ床面積約20万㎡のビルで、キーテナントとして、百貨店のほか専門店、オフィスなどが入る予定となっている。

阪急グループにおいては、阪急百貨店の建て替えや茶屋町地区の複合ビルなどの計画があり、周辺地域のにぎわい創出、活性化の誘引に寄与する。

また、2004年11月、阪神電鉄により阪神西梅田開発第Ⅱ期計画「ハービスENT」（ハービス エント）がオープンした。ハービスエントは、劇場やライブハウス等のエンターテインメント施設、世界的なブランドショップ、独自のこだわりを持つショップやレストランなどのほか、緑とアートに囲まれたプロムナードが整備されるなど、周辺の商業施設も含めた西梅田地区全体の賑わいが高まっている。

### (2) IT・ロボット関連のビジネス拠点の動向

大阪駅周辺は国内上場企業の本社をはじめ関西の拠点などの集積があり、御堂筋と並んで大阪を代表するビジネス街である。

近年は、都心部の利便性を活かして、他社やユーザーとの交流を求めて、多くの先端的企業が拠点進出するという事例も見られる。梅田1丁目のDTタワーには、NTTドコモ関西の本社が建設され、ショールームの設置のほか、モバイルコンテンツの制作会社が集い、新しいサービスの開発を試みる動きがあるうえ、西梅田のハービスエント内には、ソニーによって大型のショールームが設置され、消費者とのコミュニケーション、マーケティング拠点として機能している。また、駅前第3ビルにおいては、大阪市により、ロボットテクノロジー者達が交流するオープン型開発拠点ロボットラボラトリーが設置されている。

### (3) 都心型大学、研究施設の進出動向

大阪駅周辺には、近年、社会人を対象とした都心型の大学・大学院の立地も増加している。関西学院大学、同志社大学、大阪市立大学の大学院サテライト教室を始め、中-

島では、大阪大学の中之島センターを核としたキャンパスイノベーションセンターが2004年に開設されている。また、構造改革特区制度によって、法律関連専門学校が母体である東京リーガルマインド大学やIT技術者等を育成するデジタルハリウッド大学院など、民間企業による大学・大学院の立地も進んでいる。

■大阪都心部の社会人向け大学院等の設置動向（2005.3現在）

名 称	種 別	開設年	場 所
関西学院大学大阪梅田キャンパス	専門職大学院	2000年	梅田
大阪産業大学梅田サテライト教室	大学院	2001年	梅田
大阪市立大学サテライトキャンパス	大学院	2003年	梅田
宝塚造形芸術大学・大学院サテライト	大学院・学部	2003年	梅田
同志社大学大阪サテライトキャンパス	大学院	2004年	梅田
LEC東京リーガルマインド大学	専門職大学院・学部	2004年	梅田・なんば・あべの
デジタルハリウッド大学院大阪サテライトキャンパス	専門職大学院	2005年	梅田
関西大学天六キャンパス天六サテライト教室	大学院	2004年	天神橋筋6丁目
神戸大学大阪経営教育センター	大学院	2004年	淀屋橋
関西大学中之島センター	大学院	2004年	淀屋橋
立命館大学立命館アカデミア@大阪	大学院	2004年	淀屋橋
大阪経済大学北浜キャンパス	大学院	2005年	北浜
大阪大学中之島センター	大学院	2004年	中之島
奈良女子大学大学院サテライト・キャンパス	大学院	2004年	中之島
連合大学院大阪サテライト	大学院	2004年	中之島
大阪教育大学大学院サテライト	大学院	2004年	中之島
大阪府立大学経済学研究科なんばサテライト教室	大学院	2001年	なんば
放送大学大阪学習センター	大学院・学部	1991年	天王寺
大阪教育大学天王寺キャンパス	大学院	1993年	天王寺